

航空学生制度説明会開催 ～未来の空を担う若者たちへ

自衛隊神奈川地方協力本部市ケ尾募集案内所（所長 市川直人2等空尉）は、8月4日（月）から8日（金）まで、市ケ尾募集案内所で航空学生説明会を開催した。

説明会では、広報官が航空学生制度の概要、訓練内容、応募資格、採用試験、処遇、卒業後の進路などについて説明。その後、航空学生出身の航空自衛隊パイロットが、訓練生活の実情や職務のやりがい、誇りについて自らの経験を語り、参加した学生たちは真剣な表情で耳を傾けていた。

質疑応答では、「戦闘機に乗った際のパイロットにかかる力はどれくらいですか」など、多くの質問が学生たちから寄せられた。また、実際のパイロットスーツやヘルメットの展示が行われ、学生たちは「かっこいい」と目を輝かせながら手にとっていた。

参加した学生の一人は「実際に航空学生を経てパイロットとなつた方や広報官の話聞き、夢が一層具体的になった」と感想を述べた。

市ケ尾募集案内所は「今後も定期的に説明会を開催し、志願者を獲得するために日々努力していく」としている。



自衛隊、平塚農商高校教員に救命講習 AEDや止血法、担架搬送を実習

自衛隊神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 兒玉憲幸1等陸尉）は、8月6日（水）、平塚市の平塚農商高校において、陸上自衛隊座間駐屯地第4施設群の衛生隊員による教職員向け救命講習を実施した。地域防災力の向上を目的としたもので、同校教職員約40名が参加した。

講習では、緊急時の対応力強化を目指し、心肺蘇生法とAED（自動体外式除細動器）の使用方法に加え、出血時の止血法や傷病者を安全に搬送するための担架搬送などについても、実技を交えて指導。衛生隊員の丁寧な説明に、参加者は真剣な表情で取り組んでいた。

参加した教職員の一人は「学校でいづつどんな事態が起こるかわからない。実際に体を動かしながら学べたことで、自信につながった」と感想を述べた。

平塚地域事務所は「今回の救命講習を通じて、教職員の対応力向上に寄与するとともに、自衛隊の役割や活動への理解を深めていただけるよう、今後も地域との連携を進めていきたい」としている。

